

(添付書類用)

令和3年度 地域創生事業助成金 実績報告書(事業別)
(地域活動支援事業及び地域計画推進事業)

事業実施団体

自主防災会

事業名	1	地域防災強化事業		
事業期間	令和3年4月～令和4年3月			
決算額	234,028 円		助成金充当額	190,000 円
事業対象者	全地区民		参加人数	
事業内容	(どのような事業を、どのように行ったか) ・防災・減災に取り組む人材育成の推進 ・防災資機材等の整備 ・緊急避難場所(厚南小学校)開設マニュアル作成支援 ・内水ハザードのマップ化(モデル自治会での実施) ・防災・減災に関するアンケートの実施			
事業目標	・年1回の地区自主防災訓練の実施 ⇒ 未実施 ・防災士資格取得者への助成 ⇒ 1人 ・防災資機材の充実 ・厚南小学校緊急避難場所開設マニュアル作成支援 ・内水ハザードのマップ化(モデル自治会での実施) ⇒ 2自治会 ・防災・減災に関するアンケートの実施 ⇒ 全自治会 回収世帯数2,318世帯 回収率58.9%			
	数値目標	令和3年目標	令和3年実績	
	・地区防災訓練参加人員 ・防災士資格取得者への助成 ・内水ハザードのマップ化 ・防災アンケートの実施	・100人 ・1人 ・2自治会 ・全自治会	・未実施 ・1人 ・2自治会 ・全自治会	
	(達成できた、又は、できなかった要因) 新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から、集会や協議の場を持つことが困難な時期があったため。			
事業効果	(事業の実施により、どのような効果が得られたか) ・自治会単位の防災活動の促進 ・防災を切り口にした「支え合い」の関係づくり ・市行政、市社会福祉協議会、地区内福祉関係団体、NPO、県立大学など多様な主体との連携			
今後の課題等	(事業の必要性、継続していくための課題や改善点など) ・大規模災害が頻発する今日にあって、災害からの逃げ遅れゼロに向けた取組みが不可欠であり、地区単位での取組みと自治会単位での取組みを明確化しながら進めていくことが必要。 ・緊急避難場所等の開設や運営をより円滑化するための自主防災会の役割等の再整備。 ・上記活動を担う人材の育成。			
自己評価 (3段階評価) 1:不十分 2:効果的 3:非常に効果的	地域貢献(課題解決・魅力創出)につながる活動になりましたか		1	2 3
	助成金を有効に活用できましたか		1	2 3
	多くの住民の参加が得られましたか		1	2 3
	今後も事業継続できますか		1	2 3

(添付書類用)

令和３年度 地域創生事業助成金 実績報告書（事業別）
（地域活動支援事業及び地域計画推進事業）

事業実施団体

コミュニティ推進協議会

事業名	2	健康づくり事業		
事業期間	令和３年10月～令和４年3月			
決算額	57,000 円		助成金充当額	50,000 円
事業対象者	地区全住民		参加人数	1 3 2 人
事業内容	（どのような事業を、どのように行ったか） チャレンジデー：コロナ禍で健康二次被害が懸念されるため、体を動かすきっかけづくりとしてレノファ山口の体操とウォーキング実践を実施。明治安田生命のベジチェック（野菜摂取量測定）も同時実施し日頃の食習慣の見直すきっかけづくりを実施。 健康講座：健康診断の検査値の見方について医師の講話を実施。検査を受けたままにしないように、また、日頃聞けない医療について座談会を実施し正しい知識を習得した。 栄養講座：資質の取り方について栄養士より講座の中で、日頃使用する調味料や肉など実際のものを見ながら正しい知識の習得をした。 ウォーキングイベント：コロナ禍による健康二次被害が懸念されたため、3か月取り組めるウォーキングイベントを各個人で取り組みができるものを実施。3月24日修了式では上位の表彰やグループワークで情報交換をし今後の運動継続のきっかけづくりの場を作った。			
事業目標	・自分の健康状態について知り、生活習慣の見直しや必要な行動がとれる。 ・体を動かす楽しさを感じて運動を始めることができる ・普段の食生活について振り返り、健康課題に気づくことができる。 ・健康と食について正しい知識と技術を学ぶことができる。 ・学んだ内容を、日々の生活で実践することができる。 ・地域全体の健康度を高める。・健康に対する意識向上とその増進。			
	数値目標		令和3年目標	令和3年実績
	チャレンジデー参加人数		30名	40名
	健康講座参加人数		30名	16名
	栄養講座参加人数		20名	22名
ウォーキングイベント参加人数		50名	54名	
（達成できた、又は、できなかった要因） コロナの影響もあり、あまり周知の場がなかったが4つの事業のうち3つは目標達成人数に達した。コロナ禍で健康づくりに関心が集まるテーマやイベント内容にしたことで集まったと考える。				
事業効果	（事業の実施により、どのような効果が得られたか） 料理教室：日々の食生活を見直すきっかけとなったとともに、高血圧予防のための食生活の理解を深めることができた。家で実践できるレシピの提供、ヘルシー弁当を体験してもらうことで、生活習慣予防のための健康行動を実践することができる。 フレイル予防講座：フレイルに関する正しい知識の定着と、フレイル予防のための運動の実践することができる。			
今後の課題等	（事業の必要性、継続していくための課題や改善点など） 厚南地区は高血圧、脂質異常症、糖尿病など生活習慣に関連した、疾病を抱えている人が多い傾向にある。また、コロナ禍での外出頻度の低下からフレイル（心と体の虚弱）が懸念される状況は続いている。運動や栄養についての取り組みは必要であるが、単発の事業ではなく、継続した取り組みができるよう長期的な計画や、事前に周知できるよう早期に計画する必要がある。			
自己評価 （３段階評価） 1：不十分 2：効果的 3：非常に効果的	地域貢献(課題解決・魅力創出)につながる活動になりましたか		1	2 3
	助成金を有効に活用できましたか		1	2 3
	多くの住民の参加が得られましたか		1	2 3
	今後も事業継続できますか		1	2 3

(添付書類用)

令和3年度 地域創生事業助成金 実績報告書(事業別)
(地域活動支援事業及び地域計画推進事業)

事業実施団体

厚南小学校学校運営協議会

事業名	3	小中学校連携事業		
事業期間	令和3年4月～令和4年3月			
決算額	27,000 円		助成金充当額	27,000 円
事業対象者	全地区民		参加人数	1,050人
事業内容	(どのような事業を、どのように行ったか) ・学校運営協議会を4回、地域による授業参観を3回行った。 ・児童・保護者・地域住民による環境整備作業を行った。 ・児童・生徒・地域住民が参加した朝食レシピコンテストやしめ縄づくりを行った。 ・HPやコミスクだよりで地域にコミスクの取組を発信した。			
事業目標	・学校運営協議会や授業参観を通して、地域住民の学校に対する理解を深めるとともに、助言を得る。 ・児童・生徒の地域行事への参加により地域を愛する心を醸成する。			
	数値目標		令和3年目標	令和3年実績
	授業参観(延べ1,000人) 児童生徒の地域貢献(200人)		授業参観(延べ1,000人) 児童生徒の地域貢献(200人)	授業参観等(延べ1,000人) 児童の地域行事参加(50人)
	(達成できた、又は、できなかった要因) ・新型コロナウイルス感染症の感染防止対策のため、人数制限や中止になった行事があったため。			
事業効果	(事業の実施により、どのような効果が得られたか) ・地域住民の小・中学校に対する理解を深めるとともに、地域行事に児童・生徒が積極的に参画することで、小中学校の連携が強化される。			
今後の課題等	(事業の必要性、継続していくための課題や改善点など) ・事業を通して、地域住民の学校に対する理解を深めるとともに、助言を得ることができた。 ・今後も感染症対策をしつつ児童の地域行事への参加や地域貢献を充実させたい。			
自己評価 (3段階評価) 1:不十分 2:効果的 3:非常に効果的	地域貢献(課題解決・魅力創出)につながる活動になりましたか		①	2 3
	助成金を有効に活用できましたか		①	2 3
	多くの住民の参加が得られましたか		①	2 3
	今後も事業継続できますか		①	2 3

(添付書類用)

令和3年度 地域創生事業助成金 実績報告書(事業別)
(地域活動支援事業及び地域計画推進事業)

事業実施団体

厚南中学校学校運営協議会

事業名	3	小中学校連携事業			
事業期間	令和3年4月～令和4年3月				
決算額	14,500 円		助成金充当額	14,500 円	
事業対象者	保護者、学校運営協議会委員 生徒、地域住民		参加人数	560人	
事業内容	(どのような事業を、どのように行ったか) ・校内環境整備作業 ・進学説明会 ・中川清掃参加 ・学校運営協議会の開催 ・小1と中3の交流事業 ・運動会、文化祭、人権教育参観日・意見発表会、立志式などの学校行事参観 ・なんばカフェ(PTA主催情報交換広場)への協力 ・花鉢を贈ろう ・焼き芋大会				
事業目標	・各事業への保護者、各委員、地域住民、生徒の参加				
	数値目標		令和3年目標	令和3年実績	
	各事業総計1,000人参加		1,000人	560人	
	(達成できた、又は、できなかった要因) ・コロナ感染防止のため、行事の中止(環境整備作業)や規模の縮小及び参加制限を行ったため。 特に地域住民の参加について、制限をかけたため。				
事業効果	(事業の実施により、どのような効果が得られたか) ・感染防止で縮小した事業であったが多くの参加者があり、この状況下にしては、多くの活動を実施できた。				
今後の課題等	(事業の必要性、継続していくための課題や改善点など) ・地域支援活動の面で、昨年度に比べると活動できた。今後は、コロナ感染状況によるが、積極的に地域支援活動を展開し、地域の活性化に努めたい。また、小中の連携を深めるため、児童・生徒の共同活動事業を開催したい。				
自己評価 (3段階評価) 1: 不十分 2: 効果的 3: 非常に効果的	地域貢献(課題解決・魅力創出)につながる活動になりましたか		1	2	3
	助成金を有効に活用できましたか		1	2	3
	多くの住民の参加が得られましたか		1	2	3
	今後も事業継続できますか		1	2	3

(添付書類用)

令和3年度 地域創生事業助成金 実績報告書(事業別)
(地域活動支援事業及び地域計画推進事業)

事業実施団体

社会福祉協議会

事業名	4	地域福祉事業		
事業期間	令和3年4月～令和4年3月			
決算額	4,834,413 円	助成金充当額	953,500 円	
事業対象者	全地区民	参加人数	226人	
事業内容	(どのような事業を、どのように行ったか) ○高齢者福祉事業への支援 敬老会及び高齢者ふれあい事業への助成。令和2年度に引き続き、新型コロナの影響で集まっていた事業が実施できなかった。ただ、記念品の進呈などという形式で実施された。 ○児童福祉の充実 子ども居場所づくり及び子どもふれあい事業への助成。 ○健康づくりふれあい事業への実施 厚南ポッチャサロンを地域の福祉施設の協力を得て実施。新型コロナの影響で予定どおりの回数とはなかったが、5回開催し、延べ53人の参加者を得た。開催案内は地区の「会館だより」を通じて実施。 ○地域福祉推進に資する研修会等の実施 ・福祉委員定例会を活用して市社協より講師を招いて研修会を開催。 ・令和3年2月13日に「輝きの里」を会場に福祉教室を開催予定だったが、新型コロナの影響で令和4年度に延期。			
事業目標	○高齢者福祉の推進 ○児童福祉の推進 ○保健事業の推進 ○地域コミュニティづくりの推進			
	数値目標	令和3年目標	令和3年実績	
	①敬老会参加者	①700人	①対象1,699人	
	②子どもふれあい事業参加者	②400人	②173人	
	③厚南ポッチャサロン参加者	③延べ150人	③延べ53人(5回開催)	
④地域支援マップ作成自治会	④7自治会	④未実施		
	(達成できた、又は、できなかった要因) 新型コロナウイルス感染予防対策として集まっていた形式での事業が開催できなかった。			
事業効果	(事業の実施により、どのような効果が得られたか) 令和2年度に続き、新型コロナウイルス感染予防対策で事業が十分にできなかった。事業の実施方法、周知のあり方などに課題を残すも、継続的に事業を実施して行く中で、地域の課題解決・魅力創設などにつながっていく一歩にはなっていくものとする。			
今後の課題等	事業の継続実施と事業の地域への周知、及び地域課題・魅力創設につながる活動により一層発展させていくことが課題と考える。			
自己評価 (3段階評価) 1：不十分 2：効果的 3：非常に効果的	地域貢献(課題解決・魅力創出)につながる活動になりましたか	1	2	3
	助成金を有効に活用できましたか	1	2	3
	多くの住民の参加が得られましたか	1	2	3
	今後も事業継続できますか	1	2	3

(添付書類用)

令和３年度 地域創生事業助成金 実績報告書（事業別）
（地域活動支援事業及び地域計画推進事業）

事業実施団体

コミュニティ推進協議会

事業名	5	地域づくり事業		
事業期間	令和３年4月～令和４年3月			
決算額	311,355 円		助成金充当額	300,000 円
事業対象者	全地区民		参加人数	3 4 4 人
事業内容	(どのような事業を、どのように行ったか) ・ 厚南ゆめ広場「どんど焼き」 ・ 地区だより「厚南会館だより」発行 ・ まちづくりサークル ・ 地区内標識看板等作成			
事業目標	地域行事の実施			
	数値目標		令和３年目標	令和3年実績
	厚南ゆめ広場		500人	300人
	まちづくりサークル		300人	44人
事業目標	(達成できた、又は、できなかった要因) ・ 新型コロナウイルス感染対策のため、行事を中止したり縮小したりした。 ・ 地区だより「厚南会館だより」毎月発行 ・ 地区内に設置しているふれあい運動の標識看板が劣化していたので、作り替えた。懸垂幕のスローガンも変更されていたため、新調した。			
事業効果	(事業の実施により、どのような効果が得られたか) 新型コロナウイルス感染対策のため、ふるさとまつりは中止したが、どんど焼きは規模を縮小し神事のみを行った。まちづくりサークルは、多世代の方に参加してもらうために、講演の内容を工夫し2回開催した。			
今後の課題等	(事業の必要性、継続していくための課題や改善点など) ・ 地域コミュニティの各メンバーが高齢化しているため、活力のある人材づくり ・ 地域の伝承・継承 ・ 全ての地域住民が参加できるふれあいの場を広げたい			
自己評価 (３段階評価) 1：不十分 2：効果的 3：非常に効果的	地域貢献(課題解決・魅力創出)につながる活動になりましたか		1	2 3
	助成金を有効に活用できましたか		1	2 3
	多くの住民の参加が得られましたか		1	2 3
	今後も事業継続できますか		1	2 3

(添付書類用)

令和3年度 地域創生事業助成金 実績報告書(事業別)
(地域活動支援事業及び地域計画推進事業)

事業実施団体

子ども会育成連絡協議会

事業名	6	健全育成事業			
事業期間	令和3年4月～令和4年3月				
決算額	277,093 円		助成金充当額	0 円	
事業対象者	全地区児童		参加人数	0	
事業内容	(どのような事業を、どのように行ったか) ・広報誌「はぐるま」の発行				
事業目標	地域行事の実施 新型コロナウイルス感染予防対策のため、中止。				
	数値目標		令和3年目標	令和3年実績	
	球技大会(ドッチビー)参加人数		120人	未実施	
	大キャンプ参加人数		50人	未実施	
	(達成できた、又は、できなかった要因) 新型コロナウイルス感染予防対策のため、行事を開催できなかった。				
事業効果	(事業の実施により、どのような効果が得られたか) 新型コロナウイルス感染予防対策のため、主要行事は開催できなかったが、子ども会員の思い出を広報誌として作成し配布した。				
今後の課題等	(事業の必要性、継続していくための課題や改善点など) ・遊びやスポーツを通じて子どもの成長を期待しているが、コロナウィルスが終息しなければ行事が開催できない。				
自己評価 (3段階評価) 1: 不十分 2: 効果的 3: 非常に効果的	地域貢献(課題解決・魅力創出)につながる活動になりましたか		1	2	3
	助成金を有効に活用できましたか		1	2	3
	多くの住民の参加が得られましたか		1	2	3
	今後も事業継続できますか		1	2	3

(添付書類用)

令和3年度 地域創生事業助成金 実績報告書(事業別)
(地域活動支援事業及び地域計画推進事業)

事業実施団体

環境衛生連合会

事業名	7	環境対策事業			
事業期間	令和3年4月～令和4年3月				
決算額	459,438 円		助成金充当額	150,000 円	
事業対象者	全地区民		参加人数	1,357人	
事業内容	(どのような事業を、どのように行ったか) ・中川清掃・中川河口ヨシ原清掃活動 ・空き缶拾いの実施(年2回) ・プラゴミ減量推進 ・視察研修				
事業目標	・中川清掃・中川河口ヨシ原清掃活動 ・空き缶拾いの実施(年2回)				
	数値目標	令和3年目標	令和3年実績		
	・中川清掃・中川河口ヨシ原清掃参加人数	200人	105人		
	・空き缶拾い参加人数	800人	1,252人		
	・研修会参加人数	40人	未実施		
	(達成できた、又は、できなかった要因) コロナ禍で人数の縮小等はありませんでしたが、各自治会、各団体、中学生ボランティア等の協力を得ながら行事が行えた。				
事業効果	(事業の実施により、どのような効果が得られたか) 各行事に多くの方に参加してもらい、地域美化に取り組めた。また、日頃交流のない方とのつながりができた。				
今後の課題等	(事業の必要性、継続していくための課題や改善点など) ・SDGs、脱炭素社会の実現 ・一人一人が考えて行動する環境部				
自己評価 (3段階評価) 1:不十分 2:効果的 3:非常に効果的	地域貢献(課題解決・魅力創出)につながる活動になりましたか		1	2	3
	助成金を有効に活用できましたか		1	2	3
	多くの住民の参加が得られましたか		1	2	3
	今後も事業継続できますか		1	2	3

(添付書類用)

令和3年度 地域創生事業助成金 実績報告書(事業別)
(地域活動支援事業及び地域計画推進事業)

事業実施団体

コミュニティ推進協議会

事業名	8	コロナウィルス感染対策事業			
事業期間	令和4年1月～令和4年3月				
決算額	138,320 円		助成金充当額	130,000 円	
事業対象者	全地区民		参加人数		
事業内容	(どのような事業を、どのように行ったか) ・新型コロナウィルス感染予防対策備品購入				
事業目標	会議・講演会、イベント等に、参加者に安心して参加してもらえるように、コロナウィルス等感染対策のため、各部屋に空気清浄機を設置したい				
	数値目標		令和3年目標	令和3年実績	
	空気清浄機		2 台	2 台	
	(達成できた、又は、できなかった要因) 令和2年度に5台購入し設置したが、設置されていない部屋があるため、昨年度に引き続き2台購入した				
事業効果	(事業の実施により、どのような効果が得られたか) ・設置することで、コロナ感染対策が強化され、多くの参加者が安心して参加できた				
今後の課題等	(事業の必要性、継続していくための課題や改善点など) ・多くの地域住民が参加するため、各部屋全てに設置したい				
自己評価 (3段階評価) 1：不十分 2：効果的 3：非常に効果的	地域貢献(課題解決・魅力創出)につながる活動になりましたか		1	2	3
	助成金を有効に活用できましたか		1	2	3
	多くの住民の参加が得られましたか		1	2	3
	今後も事業継続できますか		1	2	3